



平成26年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成25年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 西菱電機株式会社

コード番号 4341 URL <http://www.seiryodenki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西岡 伸明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画本部副本部長 (氏名) 藤原 敏夫

TEL 072-771-3811

四半期報告書提出予定日 平成25年11月1日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	9,573	55.7	280	207.5	266	209.7	91	66.8
25年3月期第2四半期	6,149	17.8	91		86		54	

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 104百万円 (120.9%) 25年3月期第2四半期 47百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	26.14	
25年3月期第2四半期	15.67	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	9,434	4,606	48.8
25年3月期	11,490	4,589	39.9

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 4,606百万円 25年3月期 4,589百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期		0.00		25.00	25.00
26年3月期		0.00			
26年3月期(予想)				35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	24.3	825	24.1	800	22.1	400	10.0	114.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 2社 (社名) 、 除外 社 (社名)

コーナン電子株式会社、鳥取ケーイーシー株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	3,500,000 株	25年3月期	3,500,000 株
26年3月期2Q	1,691 株	25年3月期	1,631 株
26年3月期2Q	3,498,348 株	25年3月期2Q	3,498,369 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P.2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P.2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P.3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P.3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P.4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P.4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P.4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P.4
3. 四半期連結財務諸表	P.5
(1) 四半期連結貸借対照表	P.5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P.7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	P.7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	P.8
(3) 継続企業の前提に関する注記	P.9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P.9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、政府による経済・金融政策により、企業収益や消費動向にも改善が見られ、緩やかに回復しました。

当社グループの関連する業界では、情報通信端末事業におきましては、スマートフォンやタブレット型多機能端末市場が引き続き拡大しております。情報通信システム事業におきましては、大型台風の襲来や豪雨・地震災害などから、国民の安心・安全な暮らしを守る社会インフラの整備・強化が求められています。また、総務省による700/900MHz帯周波数再編が進められており、MCA無線、電子タグシステムなどの新周波数帯仕様への更新期限が迫りつつあります。

このような状況下、当社グループは、2013年2月から開始した、ソフトバンクモバイル株式会社ならびにソフトバンクテレコム株式会社との連携によるタクシー、トラックなどの商用車向け車載用IP無線サービスの販売（以下「IP無線事業」）が本格化したことや、スマートフォン市場の拡大等に伴う携帯端末修理再生事業における受付台数が増加したことなどから、前年同期に比べ大幅な増収となりました。さらに、7月にコーナン電子株式会社（本社：兵庫県伊丹市）が旧コーナン電子株式会社（現「甲南光音株式会社」）からその全事業を承継したことや、鳥取ケーイーシー株式会社（本社：鳥取県鳥取市）を子会社化したことにより、当社グループの規模は前年同期に比べ大幅に拡大しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高95億73百万円（前年同期比55.7%増）、営業利益2億80百万円（前年同期は営業利益91百万円）、経常利益2億66百万円（前年同期は経常利益86百万円）、四半期純利益91百万円（前年同期は四半期純利益54百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[情報通信端末事業]

情報通信端末事業におきましては、携帯電話販売やパソコン販売は前年同期並みの売上高となりましたが、携帯端末修理再生事業が本格稼働し、出荷台数が増加したことにより、前年同期に比べ増収となりました。携帯ショップ向けに自社開発した店舗運営システムは、携帯電話ショップのみならず異業種向けに改良を加えるなど、引き続き拡販に注力しております。

これらの結果、情報通信端末事業での売上高は40億6百万円（前年同期比18.3%増）、営業利益は2億18百万円となりました。

[情報通信システム事業]

情報通信システム事業におきましては、ソフトバンクモバイル株式会社向けIP無線事業の拡大や、周波数帯再編に伴う機器・システムの更新・移行案件について積極的な受注活動が奏功したこと、公共向けの防災・減災案件の増加などにより、前年同期に比べ大幅増収となりました。京都・阪神競馬場の映像配信運営をはじめとする、既存の各種システム保守業務などのストックビジネスは引き続き堅調に推移しました。

これらの結果、情報通信システム事業での売上高は55億67百万円（前年同期比101.6%増）、営業利益は61百万円となりました。

なお、情報通信システム事業における官公庁向けの売上高は、通常の営業形態として、第4四半期に完成する割合が大きいため、業績に季節的変動があります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産の残高は、74億80百万円(前連結会計年度末は101億72百万円)となり、26億91百万円減少しました。これは主に、受取手形及び売掛金が44億76百万円減少したことなどによるものです。固定資産の残高は、19億54百万円(前連結会計年度末は13億18百万円)となり、6億35百万円増加しました。これは主に、コーナン電子株式会社の事業承継などによる有形固定資産の3億18百万円増加と無形固定資産の2億91百万円増加などによるものです。

この結果、総資産は94億34百万円(前連結会計年度末は114億90百万円)となり、20億56百万円減少しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債の残高は、40億70百万円(前連結会計年度末は68億2百万円)となり、27億31百万円減少しました。これは主に、買掛金及び支払手形が30億17百万円減少したことなどによるものです。固定負債の残高は、7億57百万円(前連結会計年度末は99百万円)となり、6億58百万円増加しました。これは主に、長期借入金が増加したことなどによるものです。

この結果、負債合計は48億27百万円(前連結会計年度末は69億1百万円)となり、20億73百万円減少しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、46億6百万円(前連結会計年度末は45億89百万円)となり、17百万円増加しました。これは四半期純利益91百万円、剰余金の配当87百万円、その他有価証券評価差額金の13百万円増加によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年10月21日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、新たに設立したコーナン電子株式会社を連結の範囲に含めておりません。

当第2四半期連結会計期間より、新たに株式を取得した鳥取ケーイーシー株式会社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

原価差異の繰延処理

季節的に変動する操業度により発生した原価差異のうち、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるものについては、当該原価差異を流動資産(その他)として繰り延べております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	532	2,353
受取手形及び売掛金	7,866	3,390
商品及び製品	358	390
仕掛品	725	515
原材料	178	285
繰延税金資産	207	138
その他	303	407
貸倒引当金	0	0
流動資産合計	10,172	7,480
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	870	1,012
減価償却累計額	355	376
減損損失累計額	20	20
建物及び構築物(純額)	495	616
機械装置及び運搬具	969	972
減価償却累計額	924	939
減損損失累計額	1	1
機械装置及び運搬具(純額)	44	31
工具、器具及び備品	423	442
減価償却累計額	240	259
減損損失累計額	91	91
工具、器具及び備品(純額)	91	90
土地	64	278
建設仮勘定	4	0
有形固定資産合計	700	1,018
無形固定資産		
のれん	-	278
その他	29	42
無形固定資産合計	29	320
投資その他の資産		
投資有価証券	98	137
前払年金費用	87	83
繰延税金資産	44	43
その他	396	389
貸倒引当金	38	38
投資その他の資産合計	588	615
固定資産合計	1,318	1,954
資産合計	11,490	9,434

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,395	2,377
1年内返済予定の長期借入金	-	159
1年内支払予定のリース債務	1	6
未払法人税等	150	27
賞与引当金	419	149
短期解約損失引当金	4	4
工事補償引当金	7	8
受注損失引当金	-	116
その他	822	1,219
流動負債合計	6,802	4,070
固定負債		
長期借入金	-	640
リース債務	2	2
繰延税金負債	3	4
退職給付引当金	6	22
資産除去債務	21	23
その他	64	64
固定負債合計	99	757
負債合計	6,901	4,827
純資産の部		
株主資本		
資本金	523	523
資本剰余金	498	498
利益剰余金	3,549	3,553
自己株式	1	1
株主資本合計	4,570	4,574
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19	32
その他の包括利益累計額合計	19	32
純資産合計	4,589	4,606
負債純資産合計	11,490	9,434

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	6,149	9,573
売上原価	4,581	7,562
売上総利益	1,567	2,010
販売費及び一般管理費	1,476	1,730
営業利益	91	280
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	1	1
その他	2	4
営業外収益合計	3	5
営業外費用		
支払利息	0	1
支払手数料	2	6
固定資産除却損	4	8
その他	1	4
営業外費用合計	8	20
経常利益	86	266
特別損失		
厚生年金基金脱退拠出金	-	90
特別損失合計	-	90
税金等調整前四半期純利益	86	176
法人税、住民税及び事業税	6	20
法人税等調整額	25	63
法人税等合計	31	84
少数株主損益調整前四半期純利益	54	91
四半期純利益	54	91

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	54	91
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7	13
その他の包括利益合計	7	13
四半期包括利益	47	104
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	47	104
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。